

平成31年度 全国学力・学習状況調査の結果について

平成31年4月18日(木)に実施した「平成31年度全国学力・学習状況調査」について、全国の結果と比較した龍ヶ崎市の児童生徒の傾向を掲載します。

1 調査内容について

(1) 調査対象

[小学校第6学年児童及び中学校第3学年生徒]

(2) 調査事項

①教科に関する調査

[小学校：国語・算数] [中学校：国語・数学・英語]

②質問紙調査

[学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査]

(3) 調査方法

[悉皆調査：市内すべての小中学校で実施]

2 調査結果の概要について

◇：全国や茨城県との比較において成果のあった問題

◆：全国と茨城県との比較において課題となった問題

【小学校：国語】

領域・観点	結果の概要 (◇：成果のあった問題 ◆：課題となった問題)	正答率
話す・聞く	◇ 「豊職人へのインタビュー」の文中「ア」に入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する。	81.3%
	◆ 目的に応じてインタビューをする際の、「質問の工夫」として適切なものを選択する。	67.2%
書く	◇ 豊職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く。	68.9%
	◆ 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く。	39.2%
読む	◇ 自分の知りたいことを調べるために、選んだ本の「目次」から、読むページとして適切なものを選択する。	88.6%
	◆ 文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。	75.8%
言語についての知識・理解・技能	◇ ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる。	72.3%
	◆ 学年別配当漢字を書く。「かんしんをもってもらいたい」	17.7%

今後に向けて

「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にして表現する力の育成」

理由や根拠を明確にして、分かりやすく話したり書いたりする力を高めるためには、聞き手や読み手からの意見を聞くことが重要です。話した内容や書いた内容の表現方法の不十分さに気づき、修正ができるような学習活動を大切にしていく必要があります。表現しようとする内容の下書きを作成する場面において、伝えたいことが伝わる構成や文章になっているかを、話し合ってお互いに確認し合える活動を充実させたいです。

【小学校：算数】

領域・観点	結果の概要（◇：成果のあった問題 ◆：課題となった問題）	正答率
数と計算	◇ 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をする。 ◆ 除法の式の意味を理解し、単位量あたりの大きさを求める。	68.8% 42.9%
量と測定	◇ 2つの棒グラフの特徴や傾向を関連付けて、数量の増減を判断し、考えの根拠を記述する。 ◆ 示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述する。	46.4% 33.6%
図形	◇ 長方形を直線で切ってできた図形の中から、台形を選ぶ。 ◆ 二つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくることのできる他の形を選ぶ。	89.8% 58.1%
数量関係	◇ 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取る。 ◆ 単位量あたりの大きさを基に「求め方と答え」を記述し、その結果から、場面の状況と結果を判断し説明する。	94.5% 46.6%

今後に向けて

「筋道を立てて考え、求め方を言葉や数を用いて説明できる力の育成」

正答を求めるだけでなく、筋道を立てて論理的に考える力を高めていくために、その求め方や考え方を友達に分かりやすく説明する学習を繰り返していくことが重要です。口頭による説明だけでなく、言葉や式、図や表を用いた「分かりやすい記述」にねらいを絞った授業を計画的に実施していくことも必要です。

【中学校：国語】

領域・観点	結果の概要（◇：成果のあった問題 ◆：課題となった問題）	正答率
話す・聞く	◇ 話合いの話題や方向性を捉え、話合い中の発言の役割について説明した文章として適切なものを選択する。 ◆ 問題文中の話合いの流れを踏まえて、「どうするか決まっていないこと」について自分の意見を書く。	81.6% 63.4%
書く	◇ 意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する。 ◆ 伝えたい事柄について、根拠を明確にして意見文を書く。	85.0% 80.5%
読む	◇ 短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く。 ◆ 文章の構成や展開、表現の仕方について、自分の考えを書く。	88.6% 63.6%
言語についての知識・理解・技能	◇ 文章中の語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する。 ◆ 封筒の書き方を理解して、名前と住所を適切に書く。	76.1% 53.8%

今後に向けて

「伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く力の育成」

国語科だけの課題として捉えるのではなく、書く力の育成のために、すべての教科の学習活動において、理由や根拠を明確にした文章を書く活動を設定し、様々な学習場面で生徒の力を高めていきたいです。

【中学校：数学】

領域・観点	結果の概要（◇：成果のあった問題 ◆：課題となった問題）	正答率
数と式	◇ 簡単な連立二元一次方程式を解く。 ◆ 問題文を読み、 $6n+9$ を $3(2n+3)$ に変形できる理由を完成させる。	65.0% 51.8%
図形	◇ ある予想に対して与えられた図が反例となっていることの説明として正しいものを選ぶ。 ◆ 証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している。	75.8% 65.6%
関数	◇ グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差の意味を、問題文に照らし合わせて解答する。 ◆ 反比例の表から、xとyの関係を式で表す。	40.1% 39.3%
資料の活用	◇ 2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める。 ◆ 資料の傾向を捉え、判断理由を数学的な表現を用いて説明する。	66.5% 41.7%

今後に向けて

「論理的に考察し、新たな性質を見いだしたり説明したりする力の育成」

新たな性質を見だし、それを数学的に説明する活動を充実させる学習が求められています。その際、成り立つ性質について、その条件を変えても同じ結論が成り立つかどうかを検討するなど統合的・発展的に考える場面を意図的に設定し、論理的に考える力を高めていきたいです。

【中学校：英語】

領域・観点	結果の概要（◇：成果のあった問題 ◆：課題となった問題）	正答率
聞くこと	◇ 語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる。 ◆ 日常会話を聞いて、その内容を適切に表す絵を選択する。	89.2% 51.9%
読むこと	◇ ある状況を描写する英文を読んで、その内容を最も適切に表している絵を選択する。 ◆ 説明文とその前後にある対話文を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する。	75.3% 31.9%
書くこと	◇ 文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する。 ◆ 3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる。	74.3% 25.4%

今後に向けて

「基本的な文法事項を理解して文を書く力の育成」

自分の書いた英文を繰り返し推敲させることで、文法事項を再確認し、接続詞を正しく用いて書く力を育てていく必要があります。そのためにも、自分の書いた英文を生徒相互に読み合い、質問したり、アドバイスをしたりする学習を大切に、表現内容の質を高めていきたいです。

3 質問紙調査

*数値は「当てはまる・どちらかと言えば当てはまる」を合わせた割合(%)

(1) 望ましい生活習慣に関する内容について

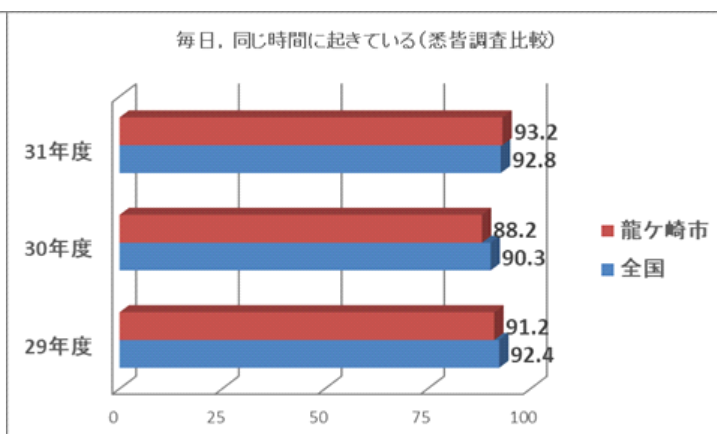
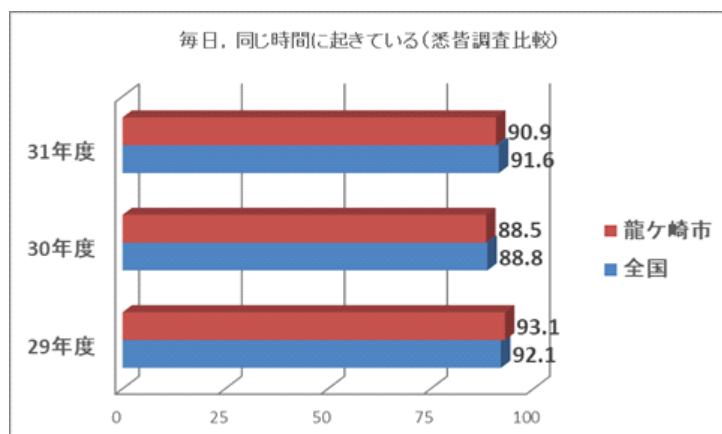
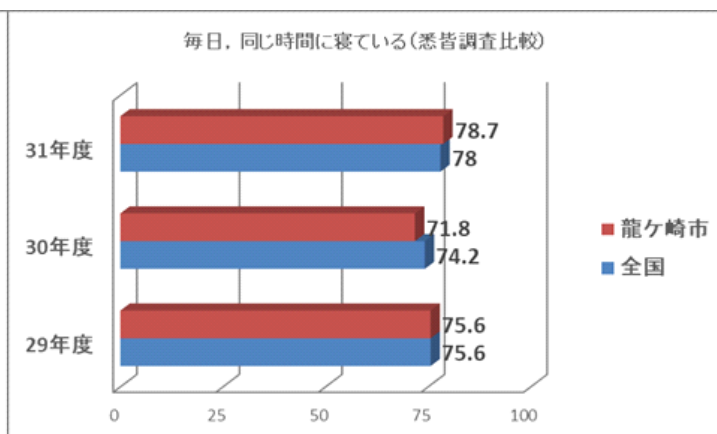
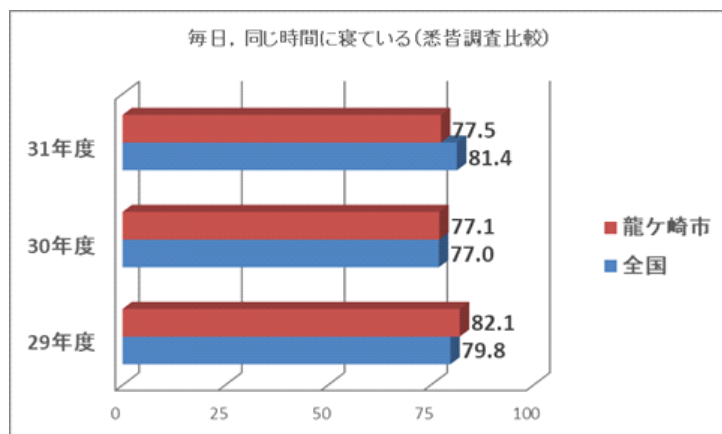
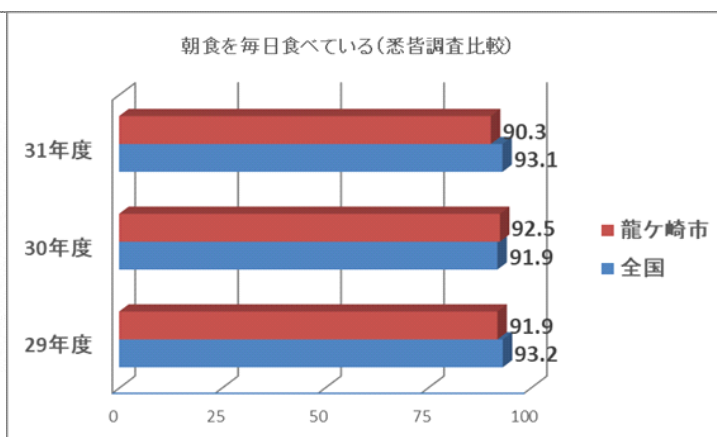
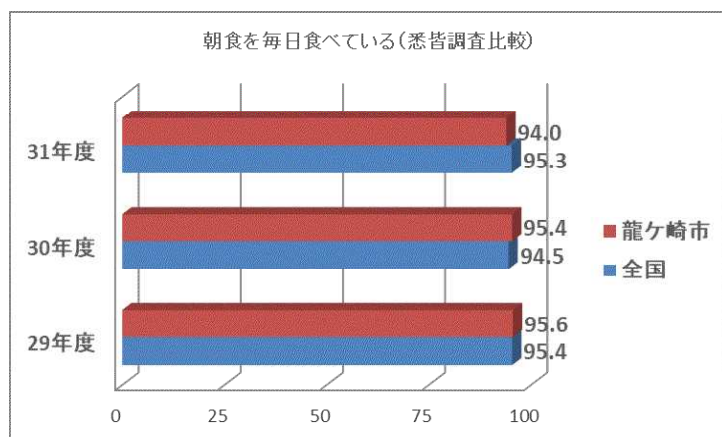
【平成31年度の結果】

質問事項	小学校			中学校		
	龍ヶ崎	茨城県	全国	龍ヶ崎	茨城県	全国
朝食を毎日食べている	94.0%	96.0%	95.3%	90.3%	93.7%	93.1%
毎日、同じくらいの時間に寝ている	77.5%	83.7%	81.4%	78.7%	79.9%	78.0%
毎日、同じくらいの時間に起きている	90.9%	93.0%	91.6%	93.2%	94.0%	92.8%

【経年データの比較】(平成29～31年度の比較)

小学校

中学校



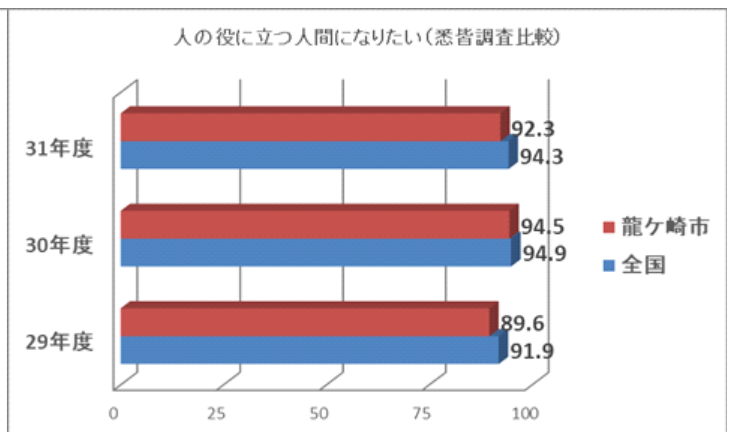
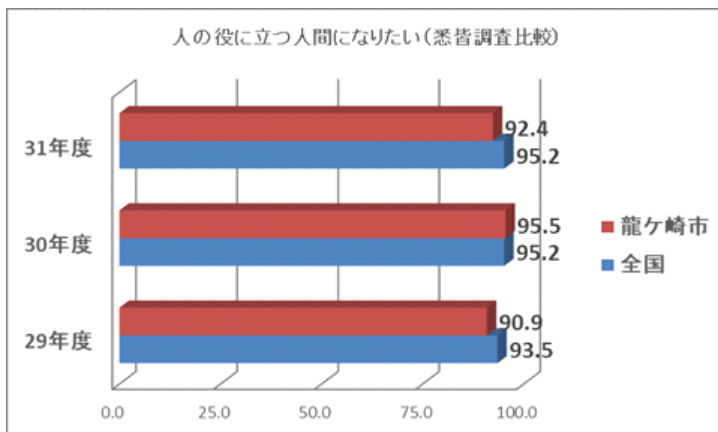
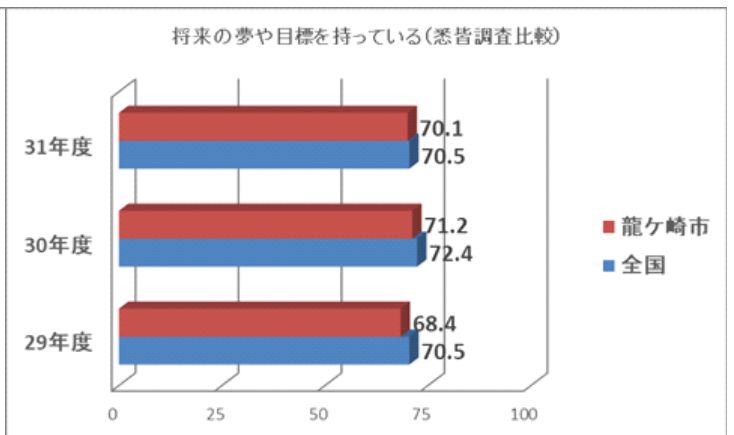
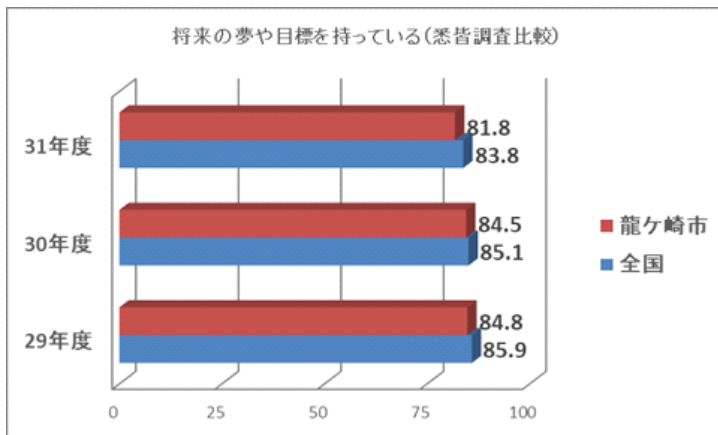
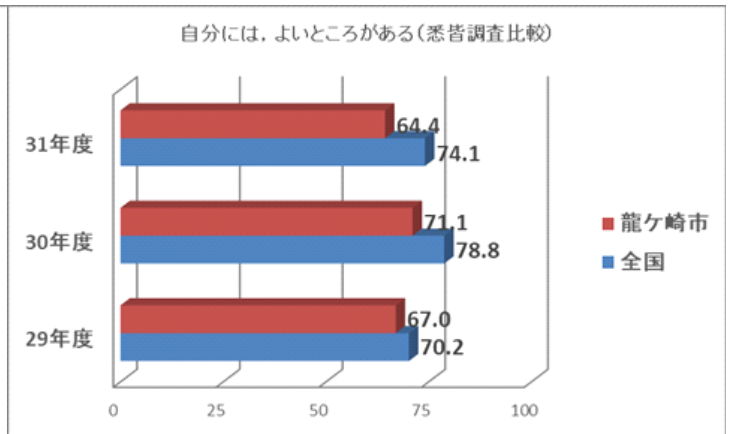
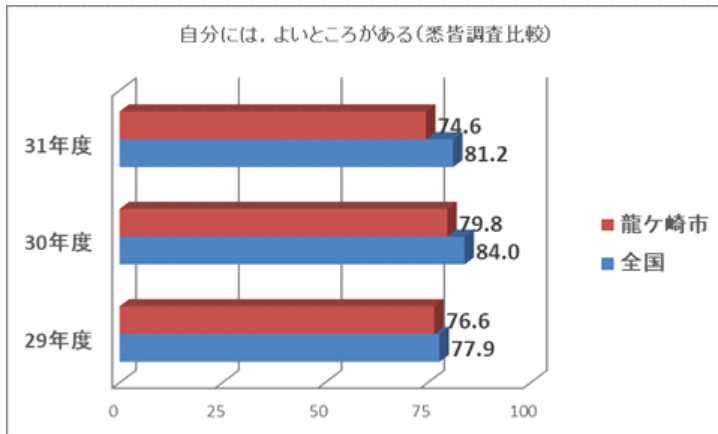
(2) 自尊感情に関する内容について
【平成31年度の結果】

質問事項	小学校			中学校		
	龍ヶ崎	茨城県	全 国	龍ヶ崎	茨城県	全 国
自分には、よいところがある	74.6%	80.8%	81.2%	64.4%	72.7%	74.1%
将来の夢や目標を持っている	81.8%	85.7%	83.8%	70.1%	72.3%	70.5%
人の役に立つ人間になりたい	92.4%	95.5%	95.2%	92.3%	94.7%	94.3%

【経年データの比較】(平成29～31年度の比較)

小学校

中学校



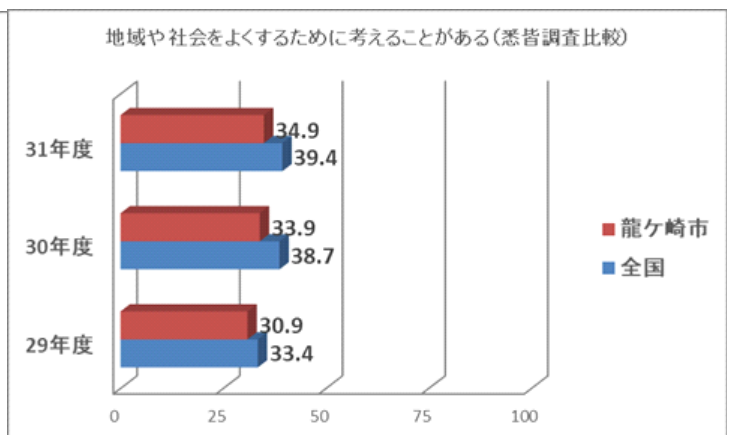
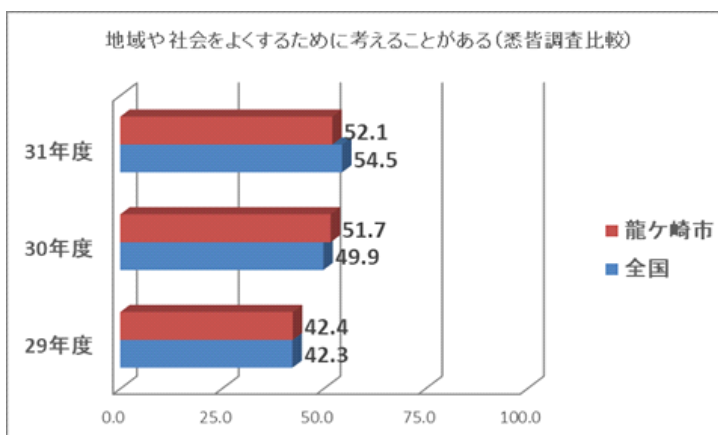
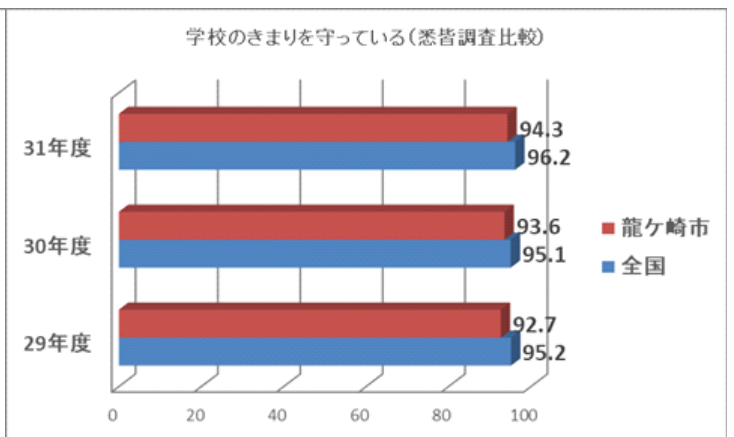
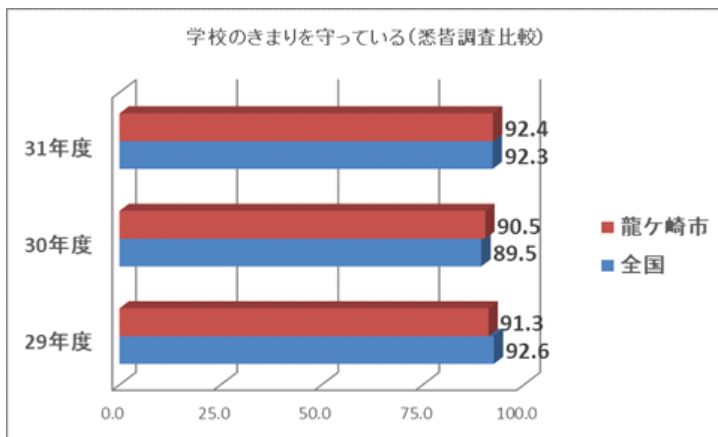
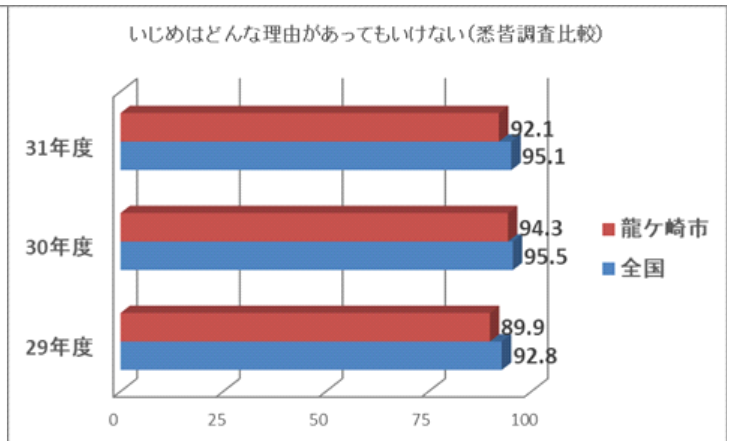
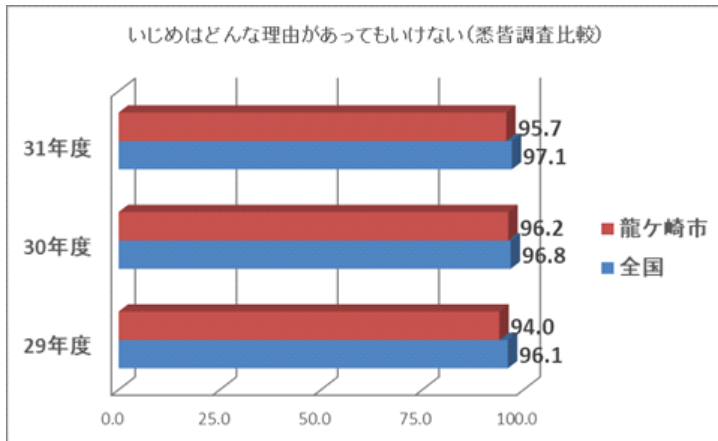
(3) 規範意識に関する内容について
【平成31年度の結果】

質問事項	小学校			中学校		
	龍ヶ崎	茨城県	全国	龍ヶ崎	茨城県	全国
いじめは、どんな理由であってもいけない	95.7%	97.6%	97.1%	92.1%	95.9%	95.1%
学校の規則を守っている	92.4%	94.6%	92.3%	94.3%	96.9%	96.2%
地域や社会をよくするために、何をすべきかを考えることがある	52.1%	58.8%	54.5%	34.9%	42.1%	39.4%

【経年データの比較】(平成29～31年度の比較)

小学校

中学校



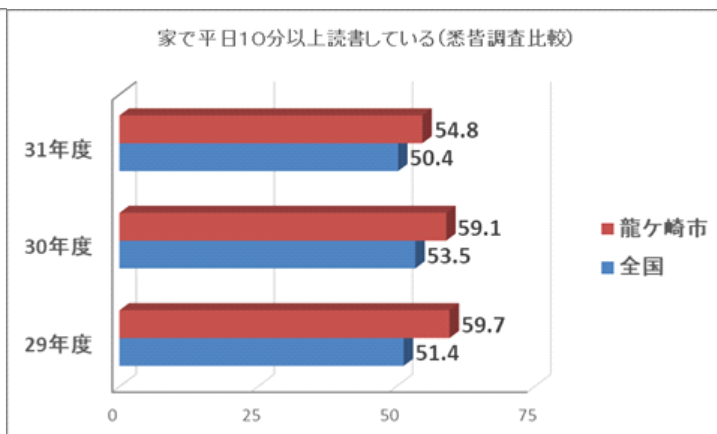
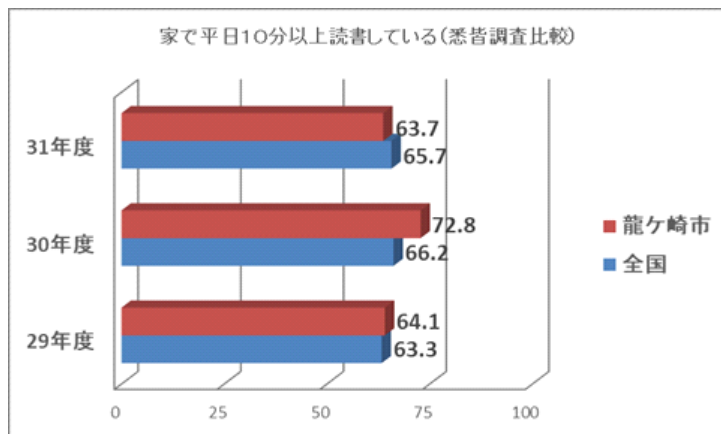
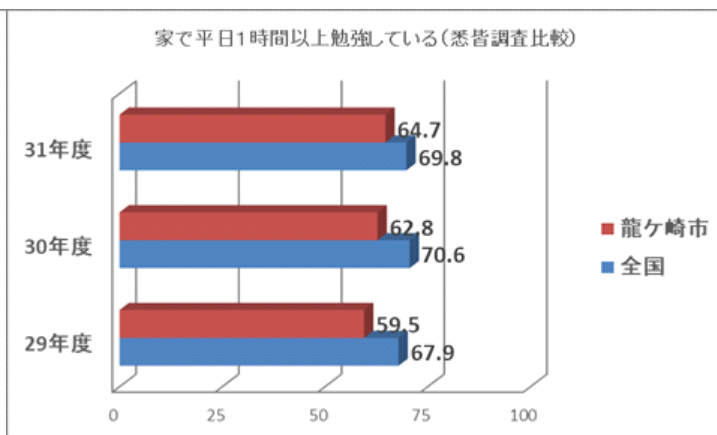
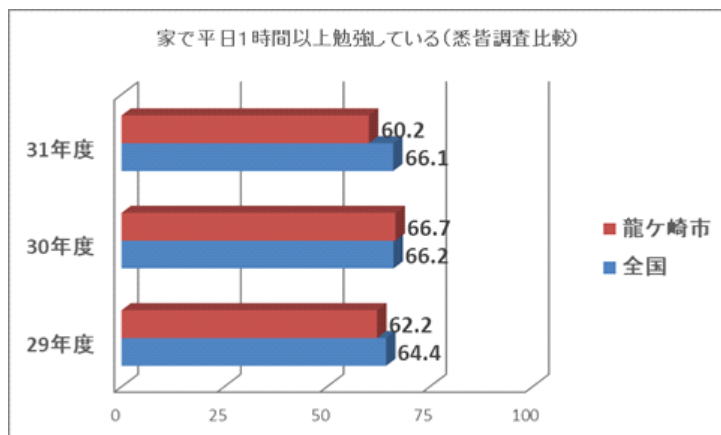
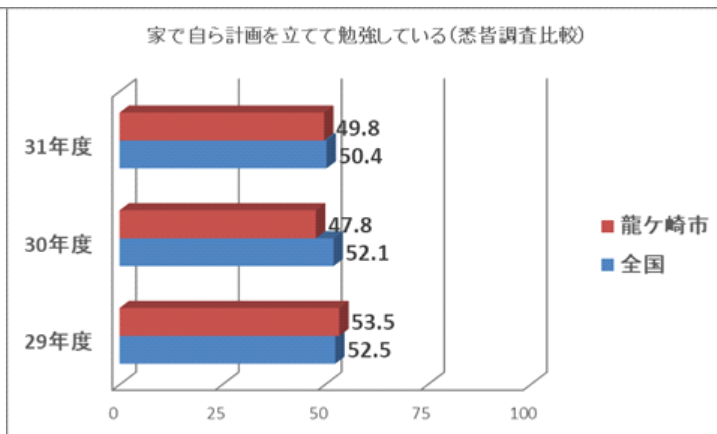
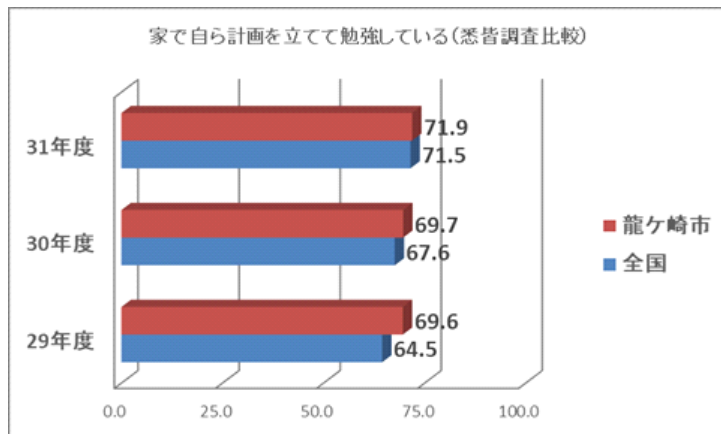
(4) 家庭学習に関する内容について
【平成31年度の結果】

質問事項	小学校			中学校		
	龍ヶ崎	茨城県	全国	龍ヶ崎	茨城県	全国
家で自分で計画を立てて勉強している	71.9%	79.3%	71.5%	49.8%	56.7%	50.4%
学校以外で平日1時間以上学習している	60.2%	69.4%	66.1%	64.7%	70.9%	69.8%
学校以外で平日30分以上読書している	63.7%	69.3%	65.7%	54.8%	53.9%	50.4%

【経年データの比較】(平成29～31年度の比較)

小学校

中学校



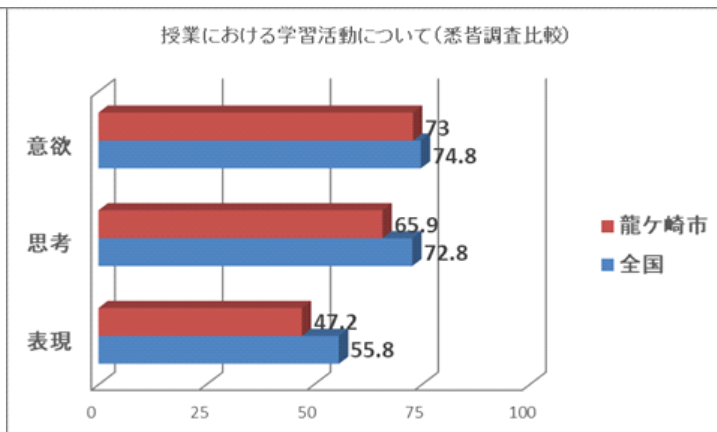
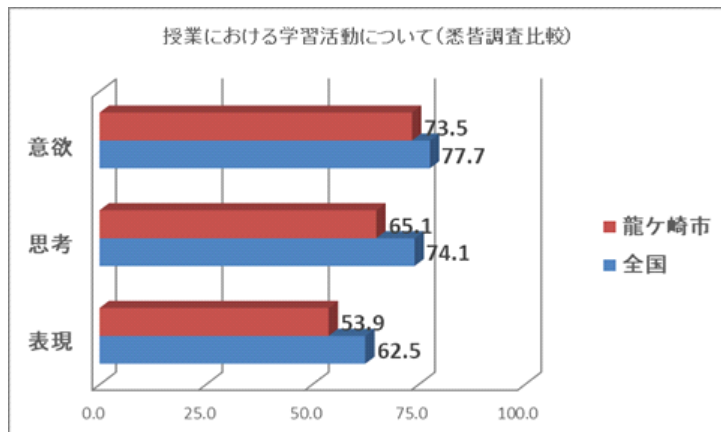
(5) 学習活動に関する内容について

【平成31年度の結果】

質問事項	小学校			中学校		
	龍ヶ崎	茨城県	全 国	龍ヶ崎	茨城県	全 国
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる 【意欲】	73.5%	79.5%	77.7%	73.0%	78.6%	74.8%
授業では、話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりしている 【思考】	65.1%	74.5%	74.1%	65.9%	73.1%	72.8%
授業では、自分の考えがうまく伝わるよう、話の組み立てを工夫して発表している 【表現】	53.9%	62.2%	62.5%	47.2%	56.5%	55.8%

小学校

中学校



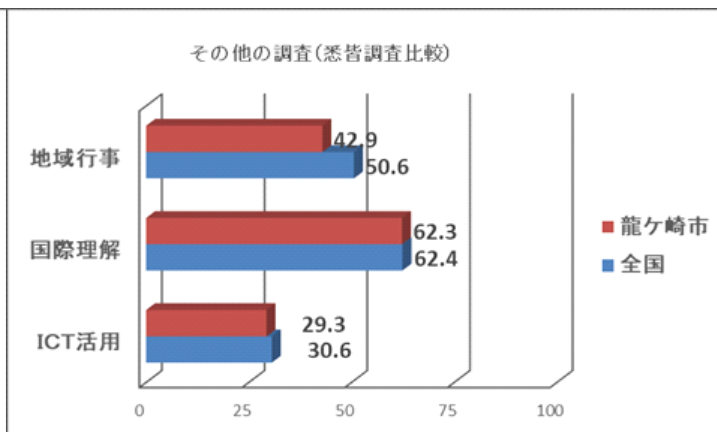
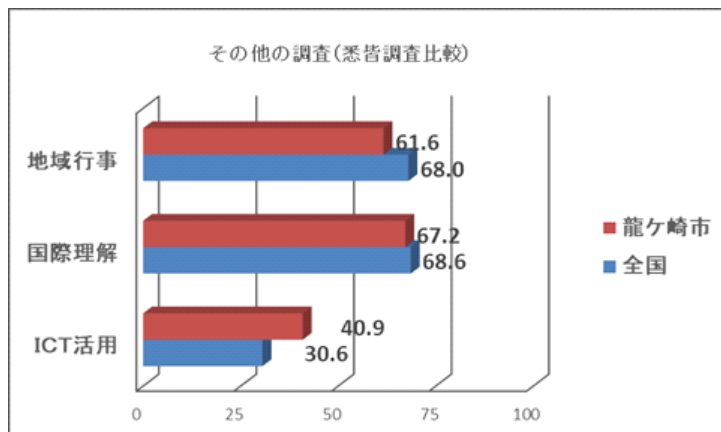
(6) その他

【平成31年度の結果】

質問事項	小学校			中学校		
	龍ヶ崎	茨城県	全 国	龍ヶ崎	茨城県	全 国
住んでいる地域の行事に参加している 【地域行事】	61.6%	69.1%	68.0%	42.9%	54.9%	50.6%
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたい 【国際理解】	67.2%	69.3%	68.6%	62.3%	62.8%	62.4%
授業では、コンピュータなどのICT機器を、週1回以上使用している 【ICT活用】	40.9%	34.4%	30.6%	29.3%	27.7%	30.6%

小学校

中学校



調査結果と今後の取組について ～学校・家庭・地域の力を合わせて～

(1) 望ましい生活習慣に関する内容について

朝食摂取率については、県や全国との比較において大差はありません。しかし、これまでの経年データを確認すると、調査が開始された平成21年度から、ゆるやかな下降傾向が見られます。就寝時間については、中学生よりも小学生の方が不規則になっているという結果となりました。ご家庭でも、ノーメディアデー（テレビやインターネットを利用しない日）を設けるなどして、健康的な生活習慣づくりへのご協力をお願いいたします。

(2) 自尊感情に関する内容について

自尊感情を高めることについては、各学校が課題意識をもって取り組んでいます。具体的には、学校生活の中で一人一人のよさや個性を積極的に認め、称賛や承認の機会を意図的に増やそうとしています。ご家庭においても、お子様が「自分は大切にされている」「自分は必要とされている」と感じられるよう、家族の中での役割を与えたり、生活のルールを決めるなどして、努力しているお子様のよさを認め、ほめてあげる機会を設けてみてください。

(3) 規範意識に関する内容について

いじめを絶対に許さない心情や、学校のきまりを守ろうとする気持ちについては、とても高い数値を示しているものの、この数値が100%になるよう、学校では課題意識をもって指導にあたる必要があります。また、地域社会への関心については、平成29年度から少しずつ改善が見られています。自分の住む身近な地域に関心をもつことは、社会のルールや公共の場におけるマナーについて考えるきっかけになると思います。

今後も、学校・家庭・地域が協力し合って、子どもたちが身近な地域について学ぶ機会を増やしていきたいです。

(4) 家庭学習に関する内容について

計画的な家庭学習については、小中学校ともに全国平均並みとなっており、ご家庭において、保護者の皆様がお子様を励ましていただいている様子が分かります。しかし、本市の児童生徒は学習量に課題が見られ、平日1時間以上の学習ができていない児童生徒が多くなっています。ご家庭でも、適切な学習時間について話題にしてみてください。

(5) 学習活動に関する内容について

小中学校ともに、意欲をもって授業に取り組んでいる児童生徒は多いのですが、話し合う活動を通して深く考えてみたり、自分の考えがうまく伝わるように話の組み立てを工夫して発表できる児童生徒は、全国と比べて少ないようです。

各学校では、ペアやグループで話し合ったり、積極的に発表したりする授業づくりに努め、子どもたちの思考力や表現力の育成に向けて研究を進めています。

(6) その他について

I C T機器の活用については小学校でとても高い数値が見られました。平成29年度から小学校に導入されたタブレット端末や電子黒板が有効に活用されているようです。中学校については、導入時期が小学校よりも1年遅れているため、来年度は中学校の調査結果も伸びることが期待されます。

また、地域行事への参加率が低いことは本市の大きな課題です。家庭や地域に頼るだけでなく、学校が中心となって地域教材を積極的に活用したり、地域の方々と交流したりしながら学習できる機会を設けていく必要があります。

市内の各小中学校では、こうした課題を解決し、龍の子の健やかな成長を保障するため、次項に示す「龍ヶ崎市教育プラン」にそった学校教育を具現化していきます。

龍ヶ崎市の学力向上施策について ～『龍ヶ崎市教育プラン』より～

『「夢」をもち「生きる力」をはぐくむ龍の子』の育成に向けて

- ①「龍の子人づくり学習カリキュラム」を核とした小中一貫教育を推進していきます
 - ・小中学校間の円滑な接続と、義務教育9年間の系統性を重視した、一貫性のある学習指導ができるよう、市内すべての学校が共同で実践研究を行い、新たな学習カリキュラム（龍の子人づくり学習カリキュラム）の作成が進められています。
 - ・令和2年度に全面実施となる、龍の子人づくり学習カリキュラムを活用した、龍ヶ崎版の小中一貫教育を通して、児童生徒の「生きる力」を基盤とした社会参画力を育てていきます。
- ②少人数指導（個に応じた指導）を充実させていきます
 - ・本市独自の「学習充実指導非常勤講師」を学校に配置し、複数の指導者による少人数指導、習熟度別指導、チームティーチング等を積極的に展開します。
- ③外国語活動・外国語指導を充実させます
 - ・令和2年度からの新学習指導要領全面実施に先行して、龍ヶ崎市では、平成30年度から小学校中学年の外国語活動を年間35時間、小学校高学年の外国語科を年間70時間実施し、コミュニケーション能力の育成等、グローバル化の進展に対応した教育を進めています。
- ④サマースクールの充実など、教育課程以外でも龍の子の学びを支えます
 - ・夏休み期間中の学習支援を「龍の子チャレンジサマースクール」とし、学び直しのための補充学習や個別の学習相談等を実施するなど、多様な学習機会を提供します。
 - ・市内小学校で、自主性や社会性を育むアフタースクール・サタデースクールを実施します。
- ⑤学校図書館を活用し読書が好きな龍の子を育みます
 - ・積極的に本を読む習慣や物事を調べる習慣を付けることで、児童生徒の学力の向上や生涯にわたって学び続ける力の育成に努めます。
- ⑥ICT機器を活用した教育を推進します
 - ・電子黒板やタブレット端末の導入とともに、ICT教育支援員を配置し、より分かりやすい授業づくりを通して、基礎学力の定着を図ります。
- ⑦教職員の資質及び指導力の向上を図ります
 - ・市が独自に行う、初任者研修（年間3回）、夏期研修講座（年間6回）を始めとする、様々な研修会の実施や、各種の学校訪問指導の機会を通して、教職員の資質及び指導力の向上を図ります。

龍ヶ崎市学力対策推進委員会が、具体的な学力向上施策を提案していきます

今回の全国学力・学習状況調査の結果を受けて、各学校ごとに課題の明確化と改善策の立案がおこなわれています。また、市内各学校の教務主任、研究主任、校長会代表、教育委員会が合同で「龍ヶ崎市学力対策推進委員会」を組織し、次年度に向けた学力向上の重点施策を検討、提案していきます。



11月5日は龍ヶ崎教育の日
11月は龍ヶ崎教育月間

「街づくり 明日の龍の子 はぐくもう」
～子どもの夢や希望の実現に向けた学校づくり～